夜間休日の往診サービス 12月1日より対応開始

名古屋・大阪・神奈川エリアで活動を続ける「家来るドクター」が12月1日よりエリアの往診を開始する。「家来るドクター」とは、夜間休日の無料医療相談・往診サービスを行っている医療機関。急な発熱や咳、鼻水などの風邪症状はもちろん、捻挫、火傷などの外傷にも対応しており「救急車に代わる新しい医療サービス」として2019年6月に愛知県でスタートした。夜間休日の体調不良時には電話一本で適切な対処法を案内し、救急往診が必要と判断された場合、連携医療機関の医師が最短30分で自宅を訪れ診察を行う。必要に応じてその場で薬の処方も行う。診察は健康保険・各種医療証が適用され、会員登録等は不要、誰でも365日いつでも利用する事が可能。往診エリアは以下の通り

●千葉市稲毛区／花見川区／中央区／若葉区／美浜区／緑区（一部エリア外）

●千葉市外全域対応

八千代市／船橋市／習志野市／四街道市／佐倉市

●千葉市外一部対応

酒々井町／八街市／市原市／浦安市／鎌ヶ谷市／市川市／白井市／印西市

※法律により往診可能エリアは連携医療機関から半径16㎞以内となります。

※対応エリア外の場合でも医療相談可能。

【問合せ】
050-8880-9898
【電話受付・医療相談時間】
平　日：17:00～24:00
土　曜：15:00～24:00
日・祝：9:00～24:00
【往診時間】
平　日：19:00～25:00
土　曜：18:00～25:00
日・祝：10:00～25:00

千葉都市モノレール千葉駅でグランドピアノ開放中

千葉都市モノレール千葉駅に誰でも弾けるグランドピアノが登場した。

この駅ピアノは、千葉都市モノレール沿線エリアの活性化を図るプロジェクトの一環として、先月15日にオープニングセレモニーが開かれ、ヤマハのグランドピアノ、愛称「モノちゃんピアノ」が設置された。千葉都市モノレールによると、全国各地の駅ピアノが話題を呼んでいるなか、千葉県内の駅に設置されているのがアップライトタイプのみであったことや、千葉駅2階の広い空間を最大限に活かせるような「弾きたくなるピアノ」をイメージし、グランドピアノの購入に至ったという。購入資金は千葉都市モノレール沿線エリアの活性化を目的としてクラウドファンディングで集められた。

小紙記者が訪れた日は、母親と買い物に来ていたという市内在住の小学校2年生の女の子がみごとなピアノの腕前を披露。次に演奏したのはプロピアニストを目指す現役の音大生で、周囲には足を止めて聴き入る人の姿も。

千葉駅の2階は天井がとても高く、音が響き渡るスペース。この場所でミュージャン等のライブなど多くのイベントが行われたこともあるが普段、通勤時間帯以外は人通りが少ない。今後は「グランドピアノが開放されている貴重な場所として、立ち寄る人が増え活気が出ることを期待したい。

秋の夜を照らす、くさ野あかり祭・夜灯（よとぼし）開催

11月4日（土）、フレスポ稲毛で「くさ野あかり祭り・夜灯（よとぼし）」が開催された。

この祭りは京成稲毛駅周辺で行われている稲毛の伝統イベント「夜灯」を草野地区に届けたいと、NPO法人まちづくりスポット稲毛が8年前から企画。コロナ禍でも、規模を縮小して開催を続けていた。

イベントは日中から行われ、子ども向けの縁日やステージイベントの他、地域で活躍する作家が作品を販売する「アートモールマルシェ」も同時に開催され、訪れた大勢の人の楽しむ様子が見られた。

夕方からは、近隣の保育園や幼稚園、子どもルーム、デイサービス等の福祉施設、スポーツクラブなどの協力を得て作られた1650個の灯篭が点灯され、温かい光が会場を包んだ。点灯は、近隣の自治会の有志、千葉大学や千葉経済大学の学生など、全てボランティアで行ったという。

会場となったフレスポ稲毛には１６５０個の灯篭が点灯

喜子さんは、「今は日常の買い物もセルフレジになるなど、人と接する機会が減ってきている。コロナ禍で希薄になってしまった人と人との繋がりを、以前のように地域の力で作っていきたい」と願う。稲毛の「夜灯」のひとつとしてより多くの人に知ってもらうために、今後もこの活動を続けていくという。

事務局長の大田万喜子さんは、「今は日常の買い物もセルフレジになるなど、人と接する機会が減ってきている。コロナ禍で希薄になってしまった人と人との繋がりを、以前のように地域の力で作っていきたい」と願う。稲毛の「夜灯」のひとつとしてより多くの人に知ってもらうために、今後もこの活動を続けていくという。

随想

「北朝鮮帰還事業」

元稲毛小学校校長　**島津　幸生**

今から78年前。日中戦争、大東亜戦争、太平洋戦争と続いた後に敗戦が待っていた。

日露戦争以前の日清戦争で台湾を領有（この時は台湾人に国籍選択権を与えた）、その後の韓国併合（この時は朝鮮半島出身者を日本人とした）で日本人と言う枠組みが大きくなった。ところが、戦争に負けたら日本政府は国籍選択権を与えず、しかたなかったのかもしれないが、日本国籍を剥奪すると言うことをした。

敗戦時日本には朝鮮半島出身者が約200万人いた、残留約60万人の中、日本は貧しい敗戦の中彼らに対する生活保護受給者の増大に頭を痛めるようになる。そこで希望者を帰国させることになった。今から64年前のことである。

昭和34（1959）年から42年の8年間にわたり、北朝鮮（朝鮮民主主義共和国）への集団的な移住、永住帰国が北朝鮮政府の主導により始まった。移住した人数は93万3340人、そのうち6730人の日本人妻や子がいた。（新聞関係資料集）

なぜこんなに多くの人が帰国したのか、それは北朝鮮を地上の楽園と言う虚偽の宣伝活動と一部マスコミ・政党・知識人による加担と朝鮮総連関係者の勧誘が行われていたからである。「3年もしたらまた戻ることができる」という言葉を信じ、北朝鮮行きの決断をした家族が多かったという。

昭和35年は安保阻止国民会議全国統一行動がありこの時期、大生樺美智子さんが亡くなっており岸信介が退陣、36年池田勇人が総理大臣になっている。

当時日本は貧しく東京のあちこちに在日朝鮮人の多くの人が住んでいたバタヤ部落と言うのがあった。

昭和36年頃だったと思うが、大学生だった私は東京の深川教会の牧師夫妻との つながりで在日の子供達と係わっていた。

その一人のお姉さんと郵便局でたまたま会った時、短大を出ているのに就職がないので帰還事業に参加するという言葉を聞いた。生活が苦しかったとは思えなかった。北朝鮮の実態が後日明らかになって当時知りえた子どもたちはどうなったか心配したものだ。

先日、脱北した日本人妻ら4人の北朝鮮に対する賠償請求を高裁は支持した。加担した朝鮮総連や日本人の罪は非常に重い。

リラクゼーション＆エステ

「稲毛新聞見た！」で18時以降全メニュー300円OFF

リラクゼーション＆エステ 猫の手 ☎ 043-284-5545
受付時間／10:00～22:00（最終受付21:30）土日祝／10:00～19:00（最終受付18:00）18時以降不定休
Mail:nekonote5545@gmail.com

「りょうえん葬儀」
稲毛陵苑でご利用いただけます。
一日葬 311,300円（税込）より
二日葬 426,800円（税込）より

新型コロナウイルス感染予防の取り組みについて
当山では新型コロナウイルスのさらなる感染拡大を防ぐため、その予防に努めております。当山職員は従業としてマスク着用をいたします。また、ご参拝・ご参列・ご見学の皆さまにおかれましても、常なるのアルコール消毒やマスク着用などのご協力をお願い申し上げます。ご見学いただく際には、一組ずつの個別対応をさせていただいております。当霊園のコンドランス・霊室とも広く開放空間となっておりますので、他のお客様との区画間距離を大きくとることが可能です。また冷暖・換気にも工夫をしておりますのでご安心して来場ください。

稲毛駅からすぐ、
お気軽に手ぶらで室内参拝

利便性
●駅近で専用駐車場も完備
●手ぶらで参拝（線香・お花不要）
●室内のため天候を気にせず参拝

趣き
●緑・水・光を感じられる参拝環境
●和型・洋型の選べるお墓スタイル
●くつろぎの屋上庭園・ラウンジ

安心
●プライベート空間を保つ参拝環境
●オリジナル納骨堂方式（トヨタL＆F製）
●最新霊廟造でご遺骨を収蔵

【注意事項】葬儀の運営については、各提携先（葬儀社）に委託します。
稲毛陵苑は檀信徒施設とかなりますので、当山僧侶がお勤めいたします。
※別途冥加金をお納めください。詳細は職員にお問合ください。

ＪＲ稲毛駅徒歩３分
京成稲毛駅徒歩５分
無料駐車場 30 台完備

これからの供養のかたち
葬儀・納骨・法事すべて執り行えます
開苑時間／ 8:00 ～ 18:00 年中無休（365 日開苑）〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東 3-7-5
稲　毛　陵　苑　☎043-388-0559
宗教法人毘沙門堂／稲毛陵苑概要　●一階／管理事務所　二階／本堂・副本堂・法事室　三階／納骨堂（檀信徒向け施設）●許可番号：千葉市保健所第 29-1 号

連載 千葉一族盛衰記

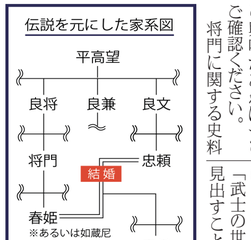
歴史噺家 けやき家こもん

第七話 平将門の伝説と千葉一族

平高望の息子たちは、現在の千葉県を中心とする、いわゆる「坂東の地」に地盤を固めました。いわゆる国香は現在の茨城県、良将は下総国、良文の初期は武蔵国、という具合です。

このうち、良文の直系が後に千葉一族になります。その良文の兄である良将の息子が平将門でありその将門の娘である春姫が、後に良文の直系に嫁いだ、とする伝説があります。この伝説をもとにすれば、千葉一族には将門の血統が入っている、ということになります。

いわゆる同族婚の説明をするとややこしくなりますので、この説の家系図をのせておきます。本説は、「将門伝説―民衆の心に生きる英雄―（新読書社）」に掲載されていますので、ご興味があればぜひご確認ください。



将門に関する史料はとても少ないうえ、戦前戦中には、逆賊将門」という文脈で焚書されてしまったこともあり、そのあたりの文献的な裏付けをとることはできません。

他方、①血統を守る目的で当時は貴族同士の同族婚が活発に行われていたこと、②伝説とはいえ現在の柏市岩井にある岩井将門神社にそれらの伝説とともに春姫信仰が残っていること、③将門が起こした乱の折に良文は将門側についた、あるいは静観した可能性が高いこと、などから、まったく問題外の説ともいえないものがあります。

以上のとおり、かの有名な将門の血筋は、色濃く千葉一族にも流れている可能性があるのです。

いずれにしても平将門は、関東の武者の草分け的存在です。彼が誅殺されるまでの事績を追うと、後に関東で幕を開ける「武士の世」の原型を見出すことができます。

武士の世といえば源頼朝公。その頼朝を助けて鎌倉幕府の成立に大きな貢献をしたのが千葉常胤公。となると、ここで平安の中期に大暴れした「常胤公のご先祖様」の生き様を確認することも大いに意味があります。

そこで本稿から数回は、千葉一族からちょっと脱線して、高望王流初期の有名人、平将門についてお話しします。

平将門とその時代

将門が活躍した平安時代中期は、早くも律令制をもとにした中央集権国家体制が崩れ始めた時代といえます。

律令制の基礎となる「人（臣民）に税を課す人頭税方式」、つまり戸籍を整備して人に対して課税する税制は、偽籍の横行により機能不全に陥ってしまったため、かわりに土地をベースに「まるっと」税金を課す方式に転換することで、なんとか財政を立て直そうとしました。その過程で、税を取り立てる役割の国司が大きな裁量権を獲得し、中には私腹を肥やすことに精を出す役人が現れはじめます。

さらに、このような時代の転換点には治安は荒れますから、群盗が横行したという背景もありました。横暴な国司や群盗から身を守るため、在地の豪族たちが武装を強化しはじめたことも、武士誕生の背景です。

現在伝わる将門伝説を紐解いてみると、彼がなした振る舞いの善悪はともかく、少なくとも「横暴なものから地域を守るヒーロー」としての姿が立ち現れます。

平将門という人物

平将門は、先のとおり桓武天皇の血を引く高望王流の在地豪族の一人です。その意味で、中央の貴族も一目置かざるを得ない人物でした。

さらに、成人してからの将門は戦をすれば連戦連勝の負けを知らずであり、朝廷からはとてもおそれられていたことが伝わっています。その結果、地元の豪族や民衆たちからは絶大な支持をとりつけ、現在の関東一円をほぼ掌握するまでにいたります。

次稿では、そんな将門の生涯を、彼の事績をあらわした数少ない史料であるあんき）」をもとにみていくことにします。

【著者プロフィール】
昭和46年佐倉市生まれ。郷土史や伝説をわかりやすく、楽しく伝える目的で、落語調で歴史を語る「歴史噺家」として活動。著書に「佐倉市域の歴史と伝説」がある。

キキミミポスト

聞く見る オハラキキ

「温泉妄想と現実」

今月号からコラムをスタートしました小説家の卵、オハラキキと申します。映画とお風呂と千葉が大好きです。

さて、早いものでもう12月。寒くなってお風呂が恋しい季節となりました。以前の私は冬場に何度も お風呂を沸かし直して、暖房代わりに湯船に浸かるのが日々の幸せでした。しかし最近では、光熱費の値上がりで小さな幸せも贅沢に感じるようになり自粛。そんなかつて「こんなに お風呂が好きならば庄が約600万で市場に出ていました。

きち中古住宅を購入して住めばよいのではないか。源泉かけ流しなら光熱費も考えずに24時間いつでも好きなときに入れるとのことと妄想が始まりました。

箱根あたりでは大浴場の温泉付きマンションが低価格で販売されているようですが、大浴場ではなく、ぜひとも自宅内に温泉がほしいです。調べてみると湯河原で築37年、1千万円台の温泉付き中古住宅を発見。駅からバスで10分、バス停から徒歩10分。那須の山奥では温泉付き別荘が約600万で市場に出ていました。

ネットでこのような物件を見ていると完全に妄想の世界に入ります。

仕事の合間に温泉に入って窓から景色を眺める…。原稿を納品した後にビールを片手に温泉に浸かる…。寒い朝だってベッドから温泉へ直行すれば起床がつらくない…ああ温泉の ある日常って最高！

ハッと現実に戻り、よくよく考えてみれば、温泉は維持費用がかかることを思い出しました。一例として先ほどの湯河原の物件は、温泉組合費が年間約16万円、物件購入時には温泉権利名義変更料が約30万円、温泉設備の負担金が約70万円とのこと。それに浴室のメンテナンスも結構大変だと聞いたことがあります。

そこで、ローンを組んで温泉付き住宅に1千万円以上かけるのであれば、同じお金で残りの人生、何回温泉旅行ができるか試算してみることに。私があと30年生きるとしたら、住宅取得諸々にかかる費用を30で割ると1年間で旅行に使えるお金は50万円。年に4回旅行するなら1回あたり約12万円。これなら物件を買うより全国の温泉を旅行したほうが断然よさそう（笑）。それに山奥のポツンと一軒家なんて恐がりな私が暮らせるはずがない。

というわけで、この冬はどこの温泉に行こうかしら。

本を介した心の交流場所オープン

今年10月、千葉市稲毛区緑町1丁目に2・5坪のシェア型書店「いとなみ書店2・5」がオープンした。

シェア型書店とは、棚主がスペースの利用料を払い、それぞれが紹介したい本を販売するというビジネスのあり方。開業前から話題を呼び、当初の棚主の枠は来年1月末まで埋まっているという人気ぶり。その後、5棚増やした分も順調に申し込みが入っているとのことだが、興味ある方は問い合せてみてはいかがだろうか。

いとなみ書店2・5

店内には2種類の本棚がある。「本を愛する人々の本棚」（15棚）の棚主は、ライターや翻訳者など、書くことのプロ」から大学生、本を愛する人などで、それぞれが勧める本が並べられている。

そして「社長の本棚」（5棚）は、この会社キウ。「いとなみの中にはたらく人を」をコンセプトとした地域密着採用支援企業として、地域で働く人にフォーカスした求人メディア「ｉｔｏｎａｍｉ－ｃｈｉｂａ（いとなみ千葉）」の運営や採用代行、ウェブサイト制作などを行っている。

地域で事業を営む企業の社長が感銘を受けた本を販売。社長棚は100円や300円均一などリーズナブルな価格の本が多く、どの棚にも状態のよい古本が並んでいる。

例えば、私たちは友人、知人宅に伺ったとき、並べられた本を見るとその人の価値観や人生観を垣間見たような気持になる。

「いとなみ書店2・5」の本棚では、それと同じようなことが感じられこの本をお勧めしている人ってどんな人だろう…と想いを馳せるのも一つの楽しみだという。

地域のいとなみ交差点になることを願う新たなカタチの書店、小紙でも注目していきたい。

「いとなみ書店2・5」
■所在地・千葉市稲毛区緑町1丁目11～9～02号室
■最寄り駅・JR西千葉駅より徒歩10分、京成みどり台駅より徒歩2分
■営業時間・月曜日～金曜日／11時～17時、土曜日不定期営業
■問合せ・サイトからメールフォームにて

相続・空き家・住み替えなど
「不動産」の「売却」でお悩みの方
お気軽にご相談下さい。
売却後も「その家に住み続けられる」
「リースバック」にも対応いたします。
また「資産活用」のご相談も承ります。

相談無料　査定無料　秘密厳守　地域密着　迅速丁寧

PINETEC.CO.,LTD
土地・戸建て アパート・一棟ビルなど 千葉不動産買取センター
株式会社 パインテック　千葉県千葉市中央区本町3-2-8
0120-312-848
【事業内容】不動産売買／リフォーム・リノベーション／ドローン建物点検／ヤシの木植込み／建築工事全般／ホームリースバック／「千葉不動産買取センター」運営
宅地建物取引業　千葉県知事（1）第17285号／建設業許可番号　千葉県知事（般-1）第52444号／一級建築事務所　千葉県知事登録　第1-2011-8688号